

宿題ワークシート②-1 第1回、第2回のWSでは、人と人との「つながり」といったキーワードがそれぞれの班で共通して出てきました。この「つながり」を創っていくことが今回の戦略の軸として持ちたいと考えます。

●第2回WSで考えていただいた基本目標ごとの具体的な目指す姿を事務局で考えました。2回目WSの宿題ワークは、段階的に提出していただきます。まずは黄色のセル、「～サブタイトル～」とそれを説明する「ねらい」に対する意見・修正あれば、赤字で入力をお願いします。

「～サブタイトル～」とその説明である「ねらい」は7年後、共通の達成していく目標（同じイメージを共有できる、だれもが同じ説明ができる）を示しています。

「基本目標とそのねらい」について、2月に庁内策定委員会、総合政策審議会に諮ります。これにつながるインパクト、アウトカム、取組みについては、続いて宿題ワークとしてお願いする予定です。

交付金や寄附金を受けるために幅広く取組みを紐づけるとしても、各目標は戦略的に（分野横断的に）達成していこうというものにしたいと考えます。

目標①	現サブ	新案	ねらい	インパクト（最終成果）案	アウトカム（成果）	アウトカム指標 案	取組み（インプット） ※適宜、行の追加してください	担当課						
地 の 利 を 活 か し た し ご と の 場 づ く り	京 奈 和 自 動 車 道 を 活 か し た 企 業 誘 致 と 起 業 支 援	共 に デ ザ イ ン す る 活 躍 で き る 働 き 場 の 提 供 ・ 支 援	「平坦な地形と安定した気候、鉄道・道路等の交通網の充実といった地の利を活かして、企業誘致や起業支援、地場産業や物産の認知向上・販売促進に取り組むことで、地域経済の活性化や稼ぐ力の向上につながるよう長期的な雇用機会の拡大・創出を目指します。公共だけでなく民間事業者や地域住民等と共にデザインし、多様な視点を取り入れるように努め、包括的で持続可能な活力ある「働き場」を実現していきます。 （「働き場」：企業への就職の場だけでなく、個人が活躍できる働き方ができる場） （「デザイン」：多様な視点を取り入れた構想・企画・取組みを形作ること）」 ●市内の可能性のある場所に、市外から幅広い業種を対象とした企業誘致を進め雇用機会の拡大や創出を進めます。加えて、近隣の地域からの通勤、首都圏からの移住や複数拠点生活ができるような働き方ができる場も創出することで、若者・女性、子育て世代にとって安定した働く場の確保を進めます。 ●企業等への就職だけでなく働き方の選択肢として起業ができ、販路拡大につながる支援を進めます。単なる創業にとどまらず、多様なつながりが生まれるよう、歴史景観と便利な都市が融合したまちで元気な人たちが集まるような支援を行います。	●流出超過数（通勤者）の減少 （デメリット：5年ごと公表） ●市内従業者数の増加 （デメリット：5年ごと公表、労働人口が減少していく中で増加が見込めるか。それを技術革新で補完する流れのため、あくまで組み合わせ指標として残しておく） ●創業者数の増加 （デメリット：後追いのアンケート必要） （削除） ●市内事業所数の増加 単なる事業所数では「働く場の確保」と一致しない。小さい事業所が減っても、企業誘致でそれ以上の雇用を生むこともある。そのため、勤務者・従業者を目標とするほうが良いため	企業の誘致（WSでは産業の誘致）	企業誘致件数（WSでは産業の誘致）	まちづくり協議会の設立・支援	市街地整備課	企業誘致に関する取り組み					
					民間企業の増加		土地区画整理準備組合の設立	市街地整備課						
					雇用の場の創出		新たな産業用地の創出	企業立地推進室						
							五井町公有地への企業誘致	企業立地推進室						
														若者・女性・次世代の働く場の提供
														起業支援に関する取り組み
					新規就農者の増加		新規就農者への支援	農政課						
					女性の活躍促進		マザーズセミナーの開催	人権政策課						
														地域振興課
					イノベーションの創出	創業意欲の上昇	創業塾の開催	地域振興課						
					創業の増加（最終成果に）	創業後支援の満足度	制度融資（創業支援）の支援	地域振興課						
					市内店舗数の増加		起業等スタートアップ補助金	地域振興課						
														地域振興課
					「しごと」を通じた関係人口増加									
					女性の活躍促進		女性起業応援セミナーの開催	人権政策課						
					販路拡大支援		ビジネス商談会の開催	地域振興課						
														地域振興課
					認知度の向上		権原特産品認定事業	地域振興課						
					販路拡大支援		姉妹都市物産展の実施	地域振興課						
														地域振興課
地域経済の活性化		権原ブランド認定事業	地域振興課											

宿題ワークシート②-1 第1回、第2回のWSでは、人と人との「つながり」といったキーワードがそれぞれの班で共通して出てきました。この「つながり」を創っていくことが今回の戦略の軸として持ちたいと考えます。

●第2回WSで考えていただいた基本目標ごとの具体的な目指す姿を事務局で考えました。2回目WSの宿題ワークは、段階的に提出していただきます。まずは黄色のセル、「～サブタイトル～」とそれを説明する「ねらい」に対する意見・修正あれば、赤字で入力をお願いします。

「～サブタイトル～」とその説明である「ねらい」は7年後、共通の達成していく目標（同じイメージを共有できる、だれもが同じ説明ができる）を示しています。

「基本目標とそのねらい」について、2月に庁内策定委員会、総合政策審議会に諮ります。これにつなげるインパクト、アウトカム、取組みについては、続いて宿題ワークとしてお願いする予定です。

交付金や寄附金を受けるためにも幅広く取組みを紐づけるとしても、各目標は戦略的に（分野横断的に）達成していこうというものにしたいと考えます。

[illegible]

宿題ワークシート②-1 第1回、第2回のWSでは、人と人との「つながり」といったキーワードがそれぞれの班で共通して出てきました。この「つながり」を創っていくことが今回の戦略の軸として持ちたいと考えます。

●第2回WSで考えていただいた基本目標ごとの具体的な目指す姿を事務局で考えました。2回目WSの宿題ワークは、段階的に提出していただきます。まずは黄色色のセル、「～サブタイトル～」とそれを説明する「ねらい」に対する意見・修正あれば、赤字で入力をお願いします。
「～サブタイトル～」とその説明である「ねらい」は7年後、共通の達成していく目標（同じイメージを共有できる、だれもが同じ説明ができる）を示しています。

「基本目標とそのねらい」について、2月に庁内策定委員会、総合政策審議会に諮ります。これにつながるインパクト、アウトカム、取組みについては、続いて宿題ワークとしてお願いする予定です。
交付金や寄附金を受けるためにも幅広く取組みを組むけるとしても、各目標は戦略的に（分野横断的に）達成していこうというものにしたいたいと考えます。

wsで比較的頻出した「世代間の交流・支えあい」というキーワードを中心に戦略的に（分野横断的に）進めていくことで組み立てました。
子育て・教育の全事業を入れ込むのではなく、「世代間で支えあう子育て支援・教育」という観点で考えていただければと思います。

目標①	現サブ	新案	ねらい	インパクト（最終成果）案	アウトカム（成果）	アウトカム指標 案	取組み（インプット） ※適宜、行の追加してください	担当課
安心して子どもを産み育てられる環境づくり	子育て支援のさらなる強化	世代間で支えあう子育て支援・教育	安心して子育てできる環境づくりのためには、子育て相談・支援体制の整備、世代間交流の場の創出、教育環境の整備が必要です。 こどもの発達・育成のための支援体制、保護者の不安軽減をはかるための相談体制の強化、橿原市の特色を活かした魅力ある教育の推進、幅広い世代、多様な主体がそれぞれの強みを活かした多様な学びの機会の提供により、個々の能力を最大限に伸ばすことができるような取組みを進めます。 ●こどもや親の支援体制、相談体制の強化、世代を超えた交流の場の創出により、こどもも親も孤立せず、地域全体でこどもを見守り育てるコミュニティづくりを進めます。 ●こどもの個性を受け入れ、のばすために、橿原市の特色を生かした魅力ある教育の推進とあわせて、世代を超えて交流、ともに活動し、学校教育だけでは得られない幅広い知識と経験を積む場をつくります。 ●子どもの数が減少することをふまえ、小規模化した学校の再編と併せて安全確保のため施設の老朽化対策に取組み、ＡＩの活用などＤＸの推進をすることで、個別最適な学習環境と共同的な学習を実現します。	●0歳～19歳の転出人口の抑制 「住民基本台帳人口移動報告」 （定住者の維持） ●市を特徴づけるキーワードに「子育て・教育」を選んだ人の割合 （市長の方向性に、「特色ある教育」があるため、教育を追加） （削除） ●18歳以下のこどもの増減 （現在の数値目標）	子育ての相談体制の強化 （wsでの不安感の緩和も含む）	こども家庭センターの利用者数	医療的ケア時への看護師により支援	学校教育課
						家庭教育支援事業講座参加人数	支援が必要な乳幼児への巡回支援	こども未来課
							支援が必要な子どもと家族への支援	こども発達支援課
							幼稚園・保育所・小中学校への巡回訪問	こども発達支援課 学校教育課
							専門職による療育の実施	こども発達支援課
							子ども向け遊びイベント実施	生涯学習課
							子育てに関する相談・情報交換ができる機会・場づくり	こども家庭課
							地域子育て支援拠点事業	こども家庭課
							子ども家庭総合支援拠点事業	こども家庭課
							ファミリーサポートセンター事業	こども家庭課
							妊娠・産後の電話等支援	こども家庭課
							産後ケア事業	こども家庭課
					子どもの健全な発達・育成	健診の受診率	すこやか子ども相談	こども家庭課
							乳幼児健康診査の実施	こども家庭課
							発達会議	こども未来課
					特色ある教育の実現	橿原市の特性をいかした授業の開催回数	木育授業	学校教育課
							理数系科目の能力向上に向けた算数・数学講座の実施	中央公民館
							命・人権に関する学習	
							文化財を活用した教育プログラム	
							ブックスタート事業	図書館
					よりよい集団生活の実現	勉強をしやすくなったと感じる児童の割合	学校再編	教育総務課
					個別最適な学習環境の整備		老朽化整備	教育総務課
					教育のDX推進		学校のＩＣＴ環境整備	学校教育課
							ＩＣＴ端末を用いた授業実施・授業改善	学校教育課
							適応指導教室でのリモート授業	学校教育課
					読書環境の充実	不読率の軽減	こども読書向上プロジェクト	図書館

安心して子育てできる環境づくりに関する取組み

こどもの健全な発達、育成に関する取組み

特色ある教育に関する取組み

教育環境の整備に関する取組み

宿題ワークシート②-1 第1回、第2回のWSでは、人と人との「つながり」といったキーワードがそれぞれの班で共通して出てきました。この「つながり」を創っていくことが今回の戦略の軸として持ちたいと考えます。

●第2回WSで考えていただいた基本目標ごとの具体的な目指す姿を事務局で考えました。2回目WSの宿題ワークは、段階的に提出していただきます。まずは黄色のセル、「～サブタイトル～」とそれを説明する「ねらい」に対する意見・修正あれば、赤字で入力をお願いします。

「～サブタイトル～」とその説明である「ねらい」は7年後、共通の達成していく目標（同じイメージを共有できる、だれもが同じ説明ができる）を示しています。

「基本目標とそのねらい」について、2月に序内策定委員会、総合政策審議会に諮ります。これにつながるインパクト、アウトカム、取組みについては、続いて宿題ワークとしてお願いする予定です。

交付金や寄附金を受けるためにも幅広く取組みを組づけるとしても、各目標は戦略的に（分野横断的に）達成していこうというものにしたいたいと考えます。

目標①	現サブ	新案	ねらい	インパクト（最終成果）案	アウトカム（成果）	アウトカム指標 案	取組み（インプット） ※適宜、行の追加してください	担当課
安心して健康に暮らせるまちづくり	安心・安全・健康を支えるコミュニティ形成	一人ひとりが豊かに暮らせる健康な生活の普及	奈良国体開催をスポーツを通じた健康に暮らせるまちづくりを進める機会ととらえ、障害の有無、年齢などに関わらず、スポーツを継続的に取り組める基盤整備を行います。また、ひとりひとりが自分らしく、生きがいをもって楽しく暮らせることを目指して、健康促進につながる取組み、社会参加の機会の創出、防犯・防災対策の強化を行います。 「健幸」は、身体的・精神的・社会的に良好な状態のことを指し、個人の幸福感や地域社会のwell-beingを向上させることを目指しています。 ●運動習慣のなかった方や健康づくりに関心のなかった方も取り組んでみたくような「健幸ポイント」の導入を行います。あわせて、スポーツコミッションを活用し、他地域からの人流の増加、地域活性化を推進します。 ●一人ひとりのニーズに沿った多様な趣味や文化的活動など社会参加の機会を創出し、新しいつながりがうまれることで、心の健康を高める取組みを進めます。 ●充実した日常生活を健康に営むために、犯罪防止や防災対策を推進し、安心・安全に暮らせる環境づくりの取組みを推進します。	●心身に関する幸福度の測定（Physical Well Being） （デメリット：後追いのアンケート必要） ●スポーツを週2日以上している人の割合 ●市を特徴づけるキーワードに「医療・健康」を選んだ人の割合 （前回同様） （削除） ●災害協定件数	市民の運動意識の向上		新アリーナの整備	スポーツ推進課
					医療費の適正化		医大との連携体制の構築	スポーツ推進課
					社会参加による健幸づくり			
					健康増進・病気予防	市主催スポーツイベントの参加者数	ニュースポーツの実施・啓発	スポーツ推進課
					運動機会の裾野の拡大		スポーツ推進委員派遣事業	スポーツ推進課
					地域における健康づくり活動の活性化	奈良県立医科大学との連携によるスポーツ健診の受診者数	医大と連携したスポーツ交流の実施	スポーツ推進課
						健康寿命の延伸	ヘルスリーダーの養成	健康増進課
							健康意識向上のための啓発	健康増進課
							市主催スポーツイベントの実施	スポーツ推進課
							バスケットボール活性化プロジェクト（企業版ふるさと納税）	スポーツ推進課
							スポーツ応援プロジェクト（企業版ふるさと納税）	スポーツ推進課
					社会参加の機会の創出 （市民の学習意欲の向上）	多世代の学びの場の新規受講者数／既存受講者数	健康講座の実施	中央公民館
					空き家の減少による生活環境の改善		空家等相談会	建設管理課
							空家コーディネーターの認定	建設管理課
							空家利活用及び不良住宅等解体除却補助	建設管理課
					安全対策の充実		通学路交通安全プログラムによる合同点検と改修整備	危機管理課
						道路改良率	市管理道路の安全対策プロジェクト（企業版ふるさと納税）	建設管理課 道路河川課
					市民や地域の防災対応力の向上	防災に関する講座の実施回数	出前講座・防災講座の実施	危機管理課
							防災教育の導入	危機管理課
							避難所の整備	福祉総務課
							地域デジタル化推進プロジェクト（企業版ふるさと納税）	デジタル推進課
					地球温暖化対策の啓発	環境啓発活動の参加者数	エコライフ推進プロジェクトの活用	環境政策課
							地球温暖化対策地域協議会の運営	環境政策課
							環境啓発イベントの開催	環境政策課
							クールシェアスポットの設置	環境政策課

日常的な健康をつくる取組み

基本目標3で出ていましたが、基本目標4でもスポーツ以外の社会活動への参加機会が出ていたので、こちらに追加しました。

安心した生活の基盤をつくる取組み